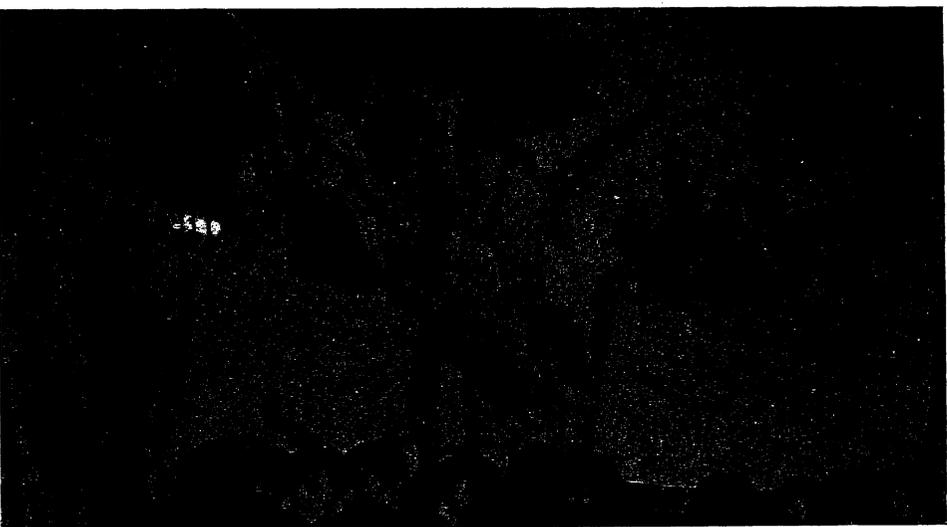


# パレスチナ人民と連帯する関西集会に参加を!

アメリカ・イスラエルによるレバノン侵略糾弾、  
PLO・パレスチナ人民の解放闘争を支援しよう!



九月十六日から十八日にかけて、イスラエル・シオニスト集団は、ベイルートのパレスチナ人居留地区で、三千人以上の人々の無差別虐殺を行いました。わたしたちは、イスラエル・シオニスト集団と今日の事態を認めたアメリカ帝国主義に対して満腔の怒りをもって抗議するものです。今回の虐殺事件はイスラエルのシャロン国防大臣が認めたように、PLOをベイルートから掃討する為に計画的に準備されたものであり、パレスチナ人を恐怖におとしめ、レバノン北部やベツカー高原に追放する為のものでした。しかし、シオニストによる蛮行は、パレスチナ問題への関心を強めています。今回のイスラエルによる侵略行動が、アメリカ帝国主義の中東支配戦略の一環であることは、すでに明らかです。レーガン政権は侵略行動への支持を与えただけではなく、真空爆弾、ボール爆弾をはじめとした残酷な殺傷兵器を供給し、大量殺りくに手を貸したのです。レーガンによる「新和平提案」がいかに欺瞞的なものかは指摘するまでもありません。アメリカ帝国主義こそが中東の平和をおびやかす張本人であり、パレスチナ人民の生存権を奪うイスラエル・シオニスト集団の共犯者です。

四〇〇万パレスチナ人を正式に代表するパレスチナ解放機構(PLO、一九六四年創設)は、これを壊滅させようとする侵略者の目論見を打ち破り、あらためてパレスチナ人民による独立パレスチナ建設にむかおうとしています。その活動は、たしかに困難な局面をむかえています。わたしたちは、いまこそPLOの闘いに連帯し、これを支援する活動を広くつくり出さねばなりません。

いま、世界的な規模で広がっている反核・反戦・平和の運動にとっても、パレスチナ人民支援の闘いは緊急を要するものです。アメリカ帝国主義を糾弾し、占領地からのイスラエル軍の撤退を要求する闘いは、いま国際的な平和闘争にとってもっとも重要な課題のひとつです。平和のとりどりの社会主義世界体制、民族解放闘争をたたかう諸国民、資本主義の支配と闘う国際労働運動と固く手を結び、PLO・パレスチナ人民の解放闘争を支援する運動を進めましょう。

わたしたちは、この課題にとりくむために緊急にこの集会を企画しました。一人でも多くの方が参加されるよう訴えます。

一九八二年三月三十日、「土地の日」に被占領地で行なわれたデモ。(世界労働機関誌「世界労働組合運動」82年6月号より)

## 京都集会

11月13日(土)午後6時開場  
労働者総合会館(四条御前)

TEL〇七五(八〇二)五三二一

## 大阪集会

11月14日(日)午後2時開場  
部落解放センター(芦原橋下車)

TEL〇六(五六二)九二二一

## 映画

『土地の日のたたかい』(カラー四〇分  
一九七九年PLO製作)

## 講演

ファトヒ・アブドルハミード(PLO駐日代表)

## 主催

パレスチナ人民と連帯する関西集会実行委員会

## 実行委員会連絡先

◎京都市北区京都北郵便局私書箱20号

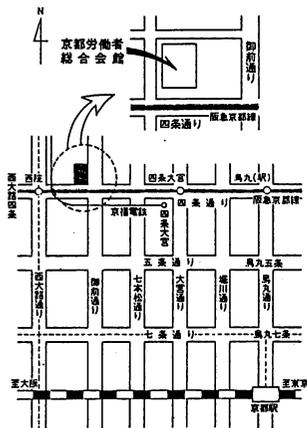
Tel〇七五

(青木)

◎大阪市北区西天満四の五の二八 塚本ビル二A

〈活動家集団思想運動〉関西事務所Tel〇六(三六二)九六〇九

## 案内



侵略者によるパレスチナ人、レバノン人の虐殺をやめさせよう!